

リカレント学習講座参加者の目標達成度に関連する要因 —2014年度 本学看護学部リカレント学習講座アンケート調査結果より—

村上 久恵, 三浦 康代, 寺谷 愉利子, 田中 小百合, 仲口 路子,
西川 秋子, 大城 知恵, 那須 さとみ, 川村 晃右

看護学部 看護学科

目的:PBL学習法を取り入れたリカレント学習講座における受講者の目標達成度に関連する要因を検討する。
方法:リカレント学習講座受講終了後に,アンケートにて,目標達成度合(%),プログラムの各内容(研究動機・キーワード検索,文献検討,統計の基本と使い方,文献レビューとクリティーク,研究計画書の書き方,研究計画書発表)の適切さを「1.適切ではない～5.十分適切である」の5件法による回答および自由記載欄への記入を求めた。そして,目標達成度とプログラム各内容との相関係数を求めた。
結果および考察:受講者男性2名・女性19名の計21名の内,回答の得られた19名を分析の対象とした。目標達成度は,40～100%で,平均 $74.74 \pm 13.07\%$ であった。目標達成度と講座の各内容との関連では,「統計の基本と使い方」における内容の適切さが,目標達成感に最も反映され,相関があった。これは,講義が初級者にもわかりやすい内容で理解が深まった一方で,苦手と感じている受講者もみられたことが影響したと考えられる。今後,統計の演習も含めた講座の内容などを検討する必要があることが示唆された。